

「入口拡幅及び舗装修復工事」

のご報告

正面石段の修理が終わったので、七月初旬より本格的な工事が始まりまして。再舗装の前に設置後50年も経っている水道管をこの際、舗装路の下だけでも刷新することになりました。また雨水による舗装の傷みや道路への土砂流出を防ぐ為、U字溝を新設・延長した為、また雨天が続いた事もあり、29日時点でまだ舗装は完了していません。予定では7月30日に舗装完了となります。

柵の案内ハガキでもお知らせしましたが、8月2日午前7時半より境内清掃を行います。ご参加下さる方は、コロナ予防のため、暑いですがマスクをご着用下さい。



實相寺花園会報

主人公 瑞巖和尚毎日自喚云々

令和二年 八月一日発行
 発行所 臨濟宗妙心寺派 陽明山 實相寺 實相寺花園会
 〒761-0450 高松市三谷町 1811番地1
 TEL.087-889-3838
 編集発行人 山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第136号

元妙心寺派管長 古川大航老師

(一八七一〜一九六八)

元雲巖僧堂師家 植木憲道老師

(一八七一〜一九六七)

ともすると主体性の大切さと説かれるが、どんな状況でも私達の主人公は私達自身である。ありのままの私を受け入れる事、他人や理想的な私の姿と比較しない事。それが大切だと思える今日この頃です。



三任妙心寺住持 瑞巖

瑞巖和尚毎日自喚主人公
 從自念諸乃云懼々着咄他
 時異日異人彌滿々
 實相寺花園会報

3月迄の15ヶ月分となっております。また晋山式の経費や無縫塔建設費、先住葬儀や法要等の支出は含んでいません。当初は基本的に副住職時代と同額の給与（月額31万円十賞与1ヶ月、寺院は月額8万5千円）を頂き、お寺の運営もそれまで通りに行っていました。新しく始めた事は平成22年に本堂庫裏の火災保険に加入したり、平成23年より社会保険に加入した程度です。しかしそれでは赤字続きで預金を切り崩すばかりである事が判りました。

そこで丁度平成24年の11月より住職が本山に常勤する事となったので住職は無給とし、寺院も工作教室の講師アルバイトをしながら月額5万円程度に減給しました。併せて住職の留守中、

寺院の協力で光熱費、交際費等の支出を見直し、なるべく無駄な経費のかからないように努めました。そうした結果が現れているのが平成25年度以降の決算です。概ね維持費と運営費の合計は1千万程度に収まっています。

しかし逆説的に言うと、十年努力して来た結果、人件費を除いても實相寺は年間1千万円程度の経費が係るお寺であるという事が判りました。平成29年6月以降、住職の給与は月額15万円、寺院は無給となり外で勤めています。他寺の法務や研修会への参加を止めれば、後10%ぐらいは減らせるでしょうが、最早、支出を切り詰めるよりも収入を増やさないと、寺院としての活動は継続できないのが現状です。(続)

「お寺の現状について」(6)

前回、實相寺の収入についてご覧頂きましたので、今回は支出についてご説明致します。

実は、宗教法人實相寺では、現住職が就任するまで一度も出納帳簿や決算書を作成していませんでした。亡き先住を批判したくは無いのですが、先住は文字通りの「井勘定」だった為、副住職だった私は何度も公私を別ける為、出納帳簿を作成するよう進言しました。結局聞き入れられませんでした。

私が住職に就任したのは平成20年11月1日付けですが、預貯金等の名義変更を済ませ、実質的に経営を引き継いだのは平成21年からです。その為、下のグラフの平成21年度は1月から翌年

寺院維持運営費の推移

